



2016 Tokyo 新人デザイナーファッション大賞 アマチュア部門 一次審査会 開催！！



去る7月2日(土)、学校法人文化学園(東京都渋谷区)にて「2016 Tokyo 新人デザイナーファッション大賞アマチュア部門」一次審査が公開形式で行われ、9月に予定されている最終審査に進む25点のデザイン画が選出されました。2016年は、世界9の国と地域の大学・専門学校等の学生から、6,672点のデザイン画が寄せられました。一次審査では、テーマの表現力、デザインの独創性と先進性を基準に、5名の審査員により選出されました。

今後、25点のデザイン画をもとに応募者が実物作品を制作し、9月14日(水)に開催される最終審査会に臨みます。その結果は、10月19日(水)渋谷ヒカリエで行われる東京ファッション・ウィーク会場にてショー形式で発表。同時に表彰も行われます。

一次審査を通過した精鋭たち25名はこちら！！

※氏名(学校・Wはウィメンズ、Mはメンズのカテゴリー)

秋山 涼(上田安子服飾専門学校/W)

李 燦雨(東京モード学園/W)

石井 加奈(文化服装学院/W)

井上 翔哉(マロニエファッションデザイン専門学校/M)

エヴァ チョウ(専門学校桑沢デザイン研究所/W)

王 向冲(大阪モード学園/W)

太田 美咲(名古屋モード学園/W)

小川 弥玖(大阪モード学園/W)

北村 元統(東京モード学園/W)

木村 珠里(文化服装学院/W)

黒瀬 英恵(エスモード ジャパン/W)

後藤 凧(名古屋モード学園/W)

小石澤 鞠(国際ビューティ・ファッション専門学校/W)

スウ カン ニョ(文化ファッション大学院大学/W)

竹田 悠莉(大阪モード学園/W)

中野 東日里(東京モード学園/W)

中村 文美(文化服装学院広島校/W)

西間木 弥咲(国際ビューティ・ファッション専門学校/W)

西村 健太(文化ファッション大学院大学/W)

ファン ティ カム トウ(上田安子服飾専門学校/W)

松永 駿(名古屋ファッション専門学校/W)

メリカ タマング(エスモード ジャパン/W)

四辻 可奈子(文化学園大学/W)

Chen Ying-Chia(輔仁大学・台湾/M)

Lee Hune Seung(ヤンサン大学・韓国/M)

(五十音順)

審査員講評



田山 淳朗 氏 (A.T ATSURO TAYAMA デザイナー・審査員長)
日本の学生のデザインに対するレベルの高さを改めて感じた。また、この何年間の特徴として日本のコンテストで賞を取るには、素材をしっかりと面白くデザインに合わせ表現することが大切になってきている。デザインだけでなく自分の素材を作れるスキルが日本の学生の中で高まってきており、その流れが続いていけば未来は非常に明るいと感じた。
前回より素材の中に色が入ってきており、時代の流れをポジティブにくみ取り表現している。どれだけ情熱を込めてどこまで作れるかが勝負になるだろう。



青木 規子 氏 (織研新聞記者)
前回、前々回はマンガチックなデザイン画のような雰囲気のものが目についたが、今回は全体的に洗練されたデザイン画が多く、レベルが上がっていて、選ぶのが難しかった。
アンバランスをいかに面白く見せるか、今までにないバランスを新しいスタイルに落とし込むといったデザインが選ばれたと思う。
また、今回はスポーティーやユーティリティーからイメージしたデザインも多く、ファッショントレンドと繋がっており、最終審査会が楽しみだ。



研壁 宣男 氏 (Support Surface デザイナー)
レベルが均衡していて、選ぶのが難しく、心苦しく落としたものも多かった。そういう意味では、運も重要なポイントだと思う。
学生たちのパワーが籠ったデザイン画を見ることができたが、絵よりも服の方が大切なので審査会が楽しみだ。



児島 幹規 氏 (装苑編集長)
ディテールに素材がついて、それが服になったとき面白くなる可能性のあるものを選んだ。この素材でこの形は実現できないだろうと感じるデザインも多く、こういう服が作りたいからこういう素材、ディテール、といった素材と絵がマッチしているものを選ばせてもらった。
全体のシルエットよりも手のこんだものが選ばれる傾向が強いと思う。また、今の世の中を、ひとと違った角度から俯瞰し反映できる人を応援したい。



高島 一精 氏 (Né-net デザイナー)
前回、前々回は心に秘めた陰のようなものをテーマに、デザインする人が多かったが、今回はそのようなものが少なく、ほっとしたし楽しみながら見ることができた。
色を使ったものも多く、軽い素材を提案しているひとも多かったし、編み物や構築的な物も多く見受けられ、軽さと色のバランスが丁度よく、完成した作品を見てみたいと思うものが選ばれたと思う。

アマチュア部門一次審査会、その一日・・・

8:30



会場の設営が完了。準備 OK!!

9:30



都内の各学校からインターンのみなさんが到着。事務局の説明に真剣に耳を傾ける。

10:00



審査員の先生が到着。インターンのみなさんが協力してデザイン画を並べ、準備する。

12:00



たくさんあったデザイン画は、200点程に絞り込まれました。

10:10



一次審査会スタート。6,672点の応募デザイン画を、一枚一枚真剣に審査する審査員の先生がた。インターンのみなさんも一生懸命に審査のお手伝いをしてくれました。

13:00



昼休みをはさんで審査会再開!!ここからさらに絞りこまれていく... 50点程まで絞られ、最後は審査員の投票によって25点が選ばれました!!

14:00



審査員の先生方からのご講評。インターンのみなさん、勉強になったかな？

14:30

おつかれさま
でした